

さけます情報

北太平洋と日本におけるさけます類の資源と増殖

はまさま かのる
濱崎 薫 (水産資源研究所 さけます部門 事業課)

2024年の北太平洋

漁獲数

2025年に公表されたNPAFC統計データによると、2024年1-12月の北太平洋におけるさけます類の漁獲数は2億2,850万尾で、前年7億2,814万尾の39%でした(図1A)。

魚種別に見ると、カラフトマスが1億5,354万尾で最も多く、全体の54%(前年比27%)を占めています。次いでサケが6,707万尾(構成比24%,前年比93%)、ベニザケが5,819万尾(構成比20%,前年比85%)、と続き、これら3魚種で全体の約98%を占めています(図1A)。地域別では、ロシアが1億5,880万尾(前年比34%)で最も多く、次いでアラスカが1億387万尾(前年比45%)と両地域で全体の92%近くを占めています。以下、日本1,717万尾(前年比83%)、カナダ251万尾(前年比110%)、米国本土(ワシントン、オレゴ

ン、カリフォルニア、アイダホ州)261万尾(前年比155%)、韓国4.1万尾(前年比103%)と続いています。ロシアとアラスカの漁獲数は前年から減少し、特にロシアではカラフトマスの影響で前年比34%と大きく減少しました(図1B)。

人工ふ化放流数

2024年1-12月に各国から人工ふ化放流されたさけます類の幼稚魚数は51億8,986万尾で、前年54億5,219万尾の95%でした(図1C)。

魚種別ではサケが34億8,801万尾で全体の67%を占め、これに次ぐカラフトマス11億8,554万尾と合わせると全体の90%以上を占めます(図1C)。

地域別ではアラスカ18億7,030万尾、ロシア16億0,799万尾、日本が11億9,495万尾、米国本土3億2,163万尾、カナダ1億9,186万尾、韓国1,025万尾となっています(図1D)。

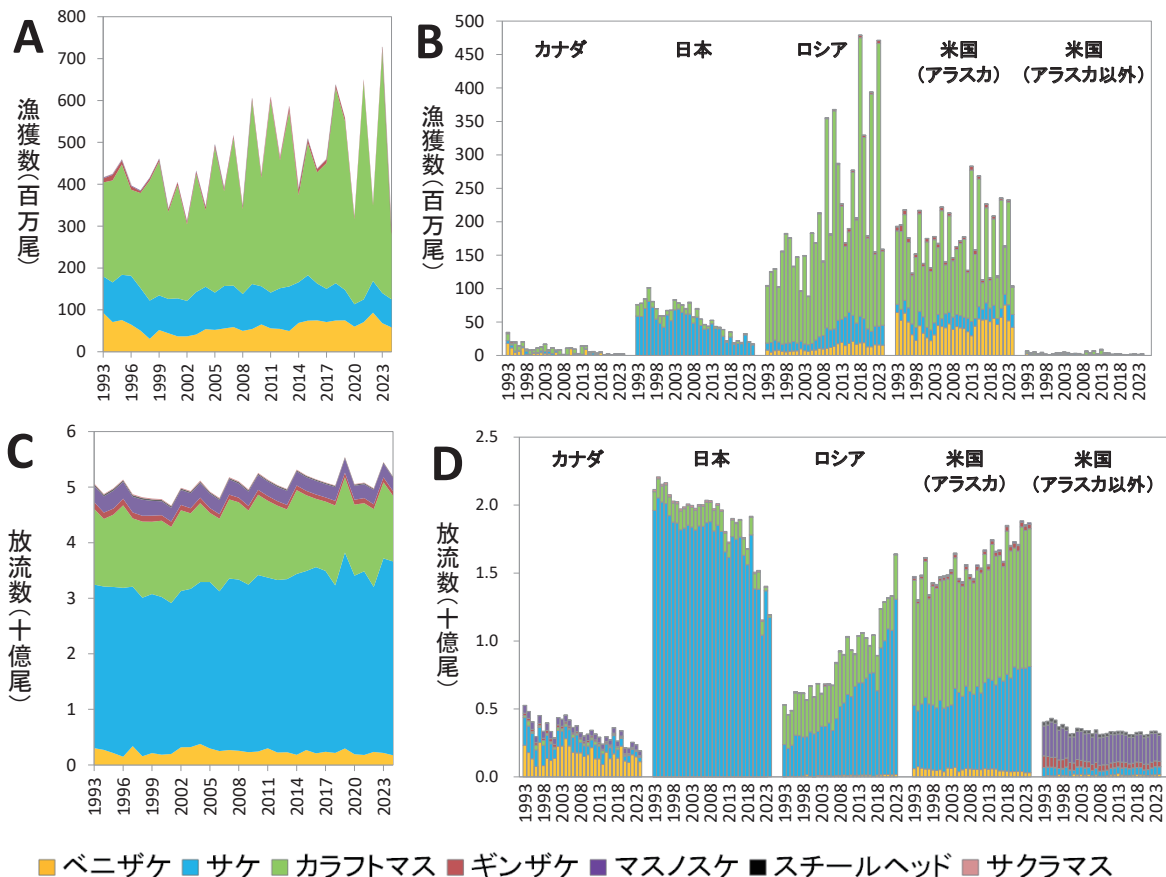


図1. 北太平洋におけるさけます類の魚種別漁獲数(A)、地域別魚種別の漁獲数(B)、魚種別人工ふ化放流数(C)及び地域別魚種別の人工ふ化放流数(D)

A及びBは「NPAFC Catch Statistics (updated 20 June 2025)」、C及びDは「NPAFC Hatchery Release Statistics (updated 20 June 2025)」より作成(参照 2025-8-13)。アラスカ以外の米国はワシントン、オレゴン、カリフォルニア、アイダホ州の合計。韓国は他国に比べ漁獲尾数・放流尾数とも僅かなため図中では省略。

2025 年漁期の日本

サケ

2025 年漁期（2025 年 8 月～2026 年 2 月）における全国の来遊数（沿岸漁獲と河川捕獲の合計）は、1 月 10 日現在、約 693 万尾（前年同期比 39%）で、1970 年代前半と同等の水準となりました（図 2）。このうち北海道では 686 万尾（前年同期比 39%）、本州太平洋側では約 3 万尾（前年同期比 36%）、本州日本海側では約 4 万尾（前年同期比 33%）といずれも前年を大きく下回っています。全国の採卵数は 1 月 10 日現在で 9 億 2,060 万粒（前年同期比 86%）となりました。このうち北海道は計画数の 83%、本州太平洋は計画数の 31%、本州日本海は計画数の 22%といずれも下回っており、全国の放流数は計画（11 億 2,208 万尾）を下回ることが見込まれます。

カラフトマス

カラフトマスは 2 年で回帰するため、偶数年級と奇数年級で異なる繁殖集団を形成していると考えられます。主産地の北海道における来遊数の動向を見ると、奇数年級は 2007 年以降減少傾向を示しており、2025 年漁期（2025 年 7 月～11 月）は約 3 万尾（前年比 71%）と 1970 年以降で最も少ない来遊数となりました。偶数年級の来遊数は 2016 年から減少傾向を示しており、2024 年は約 4 万尾となりました（図 3）。採卵数は 18 万粒で計画数の 0.1%となっており、放流数も計画（1 億 2,540 万尾）を大きく下回ると見込まれます。

サクラマス

2025 年漁期の北海道における河川捕獲数は、放流計画の変更に伴い捕獲河川が減ったため 2,572 尾（前年比 28%）となり、2000 年以降の平均の約 24%となりました。地域別には、オホーツク海区、根室海区、えりも以西海区、えりも以東海区で捕獲がなく、唯一捕獲があった日本海区は前年比 79%となりました。採卵数は 488.6 万粒で、計画数の 55%となりました。なお、2025 年漁期の本州河川捕獲数については現在確認中です（図 4）。

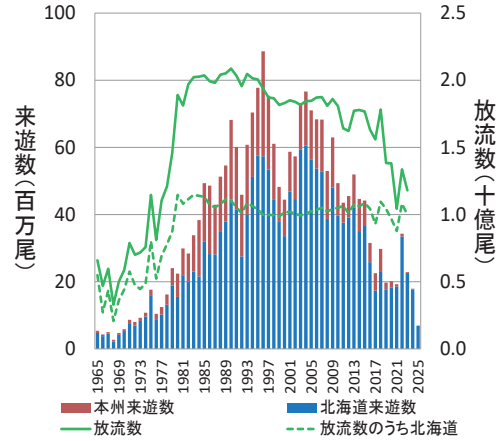


図 2. 日本におけるサケの来遊数と人工ふ化放流数（2025 年漁期来遊数は 1 月 10 日現在）

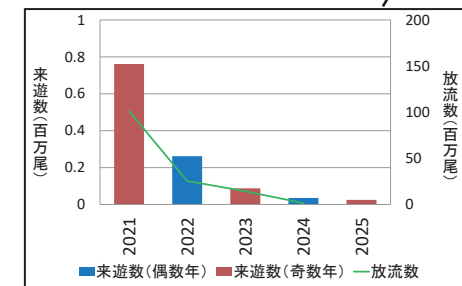
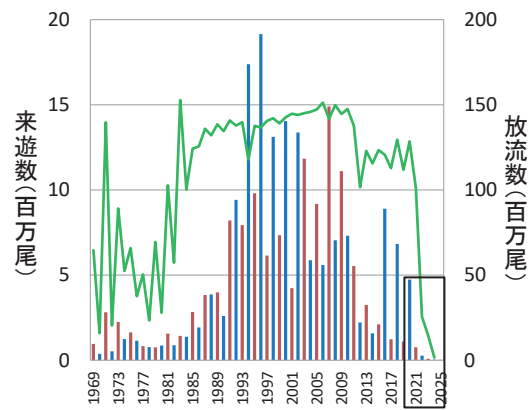


図 3. 日本におけるカラフトマスの来遊数と人工ふ化放流数

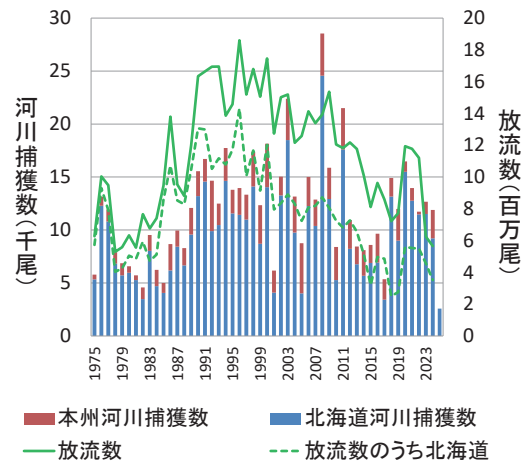


図 4. 日本におけるサクラマスの河川捕獲数と人工ふ化放流数（2025 年漁期の本州河川捕獲数は確認中）